



市民協働と政策  
矛盾について

**河辺康太郎(民主党・社民・ネット)**  
**問** 市民協働は当然に時間をかけ、市と市民が信頼関係を築き上げていくものと考ええるが市の認識は。  
**答** スポーツ振興での市民協働と公園駐車場の有料化は政策的な矛盾を抱えていると考え、市はどのように整理されているか。  
**市長** 有料化について、組織の中で長い議論をした上で意思決定していることを理解いただきたいと思います。議会の議決をいただいた後でも、関係する皆さんと話し合いの場を持って理解いただくことも必要だと考えています。



活用される学校  
図書館の整備

**川畑一隆(公明党)**  
**問** 教科書の推薦本ですら整備が不十分。教育委員会では整備すべき書籍一覧、司書派遣や図書指導員の身分・職務等の課題にしっかり対応せよ。  
**教育長** どのように教育委員会、学校として考えるべきかについて、改めて検討していきたいと考えています。  
**問** 北部丘陵で条件が整えば、市が主体となって、農地の整備や土地改良に取り組むか。  
**環境資源部長** 苦情等をいただいた場合には、すぐに現地確認を行い、事業場の所在地を所管する八王子市に連絡を入れていきます。施設の異臭改善に向けてまして八王子市との連携を密にしていきたいです。



子宮頸がんワクチンの見直しを

**渡辺厳太郎(まちなし新世紀)**  
**問** 市民は接種を受ければ子宮頸がんを予防出来ると信じてしまう。しかしこのワクチンの効果は非常に限定的で全国的に想定外の副反応が発生している。政治主導の名の下に導入され、国から押し付けられる子宮頸がんワクチンの本当の効果と危険性を広く市民に周知させるべきだが。  
**市長** 子宮頸がんのワクチンに限らず、予防接種に関し



子育て世代へ外出  
支援の整備を

**あさみ美子(公明党)**  
**問** 町田駅前に乳幼児連れ親子が休憩できる多目的スペースや授乳室等の整備を。  
**子ども生活部長** 授乳及びおむつがえのための施設整備、赤ちゃん・ふらっとの設置を、今後、公共施設などを中心に促進していきたいと考えております。  
**問** 南町田リエゾンの会議室を市民のサークル活動に貸し出す等、柔軟な対応を。



南町田リエゾン



糖尿病の早期発見、重症化予防

**宮坂けい子(公明党)**  
**問** 都民の三人に一人は糖尿病が疑われ、未治療者や治療中断者が多い。かくれ糖尿病もあり早期発見や重症化予防対策の積極的展開を求める。  
**地域保健担当部長** 予防と早期発見の取り組みとして、成人健康診断事業を実施しており、重症化防止のため、東京都や町田市医師会等が行う糖尿病の医療体制づくりにできるだけ協力していきます。



自殺防止対策の  
推進について

**佐藤和彦(民主党・社民・ネット)**  
**問** 今までの自殺防止対策における取組状況・実績と今後重視していく課題は何か。  
**地域保健担当部長** ゲートキーパー養成講座を開始し、いのちの電話等を網羅した悩みの相談先一覧を配布しています。今後は様々な機関との連携が必要と考えています。  
**問** 社会的な取組を推進していくために、地域や民間団体が課題と考えています。



いじめ防止プロ  
グラムを学校に

**わたべ真実(民主党・社民・ネット)**  
**問** いじめ対策として他自治体でNPOによる授業が公立中学で始まっている。町田市での導入の可能性はあるか。  
**学校教育部長** このプログラムを年間の指導計画にどのように位置づけるか、よく研究する必要があると考えています。  
**問** 介護用品の展示スペースを兼ねた相談機能を公共の場所に設けられないか。



山崎町を忠生地  
区から変えるな

**齋藤祐善(民主党・社民・ネット)**  
**問** 都市マスタープランの改定で、本町田・薬師池地区に山崎町が繰入れられている。山崎は地縁・歴史・文化・地理的にも忠生地区と共に歩んできた。適切ではない変更だ。  
**都市づくり部長** この地域区分が地域コミュニティや市民生活を分断するものではありません。地域は鉄道、河川、道路などの地形地物、市街地開発の経緯、町丁名を境



都計道(南大谷)に  
ついて

**上野孝典(公明党)**  
**問** 南大谷の都市計画道路建設が進んでいない。小田急線との交差を地下式にするか陸橋式にするか、まずは仮設計を行ない早期着手すべきだ。  
**建設部長** 本路線は、中心市街地の交通渋滞を緩和する重要な路線として認識しております。小田急線との交差や恩田川と接する部分の整合性、既存道路との取りつけなどの問題が多くあります。今後、検討のための資料を作成し、関係機関との協議を進めていきます。  
**問** 通学路の安全対策に対して国は交付金制度を創設した。町田市も申請に向けた準備を早急にすべきだ。  
**建設部長** 防災・安全交付金については、国から詳細が示された段階で採択基準等の内容を確認の上、市の事業に活用できるものについては積極的に検討していきます。



コミュニティバ  
スに福祉の心を

**細野龍子(日本共産党)**  
**問** 障がい者の重度訪問介護を事態に合わせ拡充すべきだが、どうか。  
**地域福祉部長** 限られた財源を活用し、できるだけ多くの方に公平、公正にサービスを提供するために、利用者のニーズと個別の状況等を勘案した上で、一定の基準に基づき必要な支援をしていきたい。  
**問** 不足する障がい者ショートステイを増やしてはどうか。  
**地域福祉部長** 今後も障がい者のグループホーム、ケアホームの新設の際に整備していく方針です。  
**問** コミュニティバス成瀬ルートの運行継続を求める。  
**都市づくり部長** 金森地区コミュニティバス運行協議会、神奈川中央交通株式会社と連携をとりながら、かわせみ号成瀬ルートの存続に向けた工夫をしていく考えです。



夢がもてるまち  
まちだに！

**熊沢あやり(志政クラブ)**  
**問** 町田地区の子どもセンターは平成二七年度開館とのことだが、地域センターの必要性をどう考えるか。  
**驚北副市長** 必要であるという認識は持っており、時期はずれますが、検討していきたいと思っています。  
**問** 町田地区の地域センターの進捗状況は。  
**驚北副市長** 要はどこに走らせるのは大変必要で大切なことと思っています。